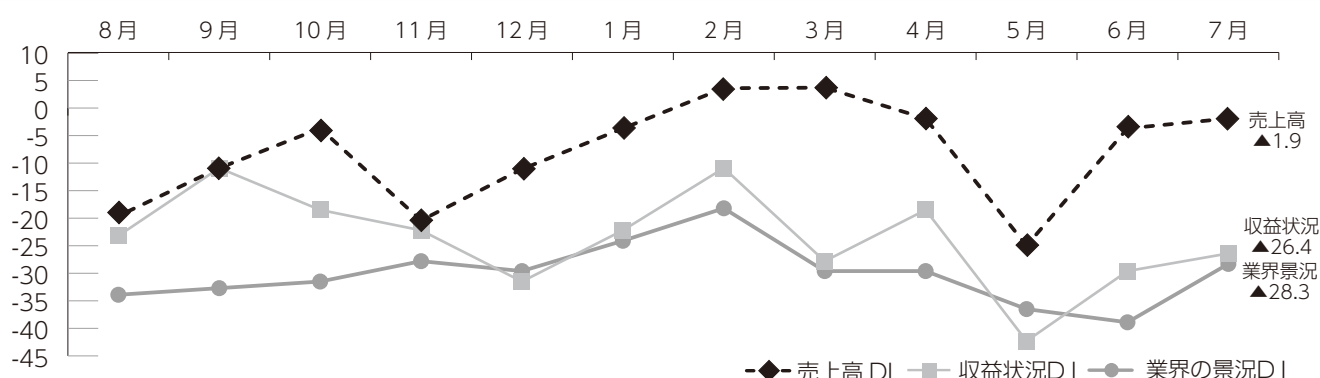


コスト高・人手不足に加え、猛暑の影響広がる

概況

原材料やエネルギー価格の高止まりと猛暑が消費行動等に大きな影響を与えている。製造業ではコスト高による収益圧迫から自助努力に限界が見られ、再度の価格転嫁や改定を検討する動きが広がる。非製造業では家電小売等で猛暑による需要増が見られる一方、商店街は客足減少で厳しい。また建設業、運輸業を中心に深刻化する人手不足により受注制限や工期遅延、倒産も発生する等、先行きの不透明感が一段と強まっている。

主要 DI の推移 (全体)



景況天気図 (前年同月比)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均									
製造業	食料品								
	繊維製品								
	窯業・土石								
	機械・金属								
	その他								
非製造業	卸売業						—		
	小売業						—		
	商店街						—		
	サービス業		—				—		
	建設業		—				—		
	運輸業		—				—		

減少悪化 ← → 増加好転

天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI 値を基に判断したものです。
DI 値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	【パン】 個人消費は緩やかな回復を見せるが、スーパー等の客足鈍化や仕入価格の上昇は止まらない。原材料やエネルギーのコスト負担が引き続き影響を与えている。 【製麺】 お中元商品の荷動きは例年並みだったものの、一部量販店では陳列棚からの入れ替えが例年より早かった。また、包装資材の納品に対する不安や、価格の高騰も引き続き課題。
織 維 製 品	【織物（桐生）】 大口注文が減少し、高級品の小口注文が増え、売上の確保や資金繰りに苦慮する様子が伺える。また、原材料や加工費が高騰する中、契約後の更なる値上がりに伴う再度の価格転嫁が難しいため、先々の受注や契約の締結を控える動きもみられる。 【織物（伊勢崎）】 小幅織物は人材確保難で経営環境が引き続き厳しい状況にある。広幅織物は、秋に東京で開催される展示会への出展を予定している。 【刺繍】 猛暑の影響や人手不足、原材料高が継続しており、生産効率や納期調整に課題がある。アパレル関連は夏物のピークが過ぎ、秋冬物へ切替わったため、受注は全体で減少。 【インテリア】 円安に伴う原料や資材の高騰に対し価格転嫁を進めているが、商品価格の上昇によって販売数量や受注が低迷。売上は減少傾向にあり、資金繰りの悪化を懸念している。
窯業・土石	【コンクリートブロック】 前年同月比で出荷・利益は微増で推移。しかし、原材料や梱包資材等の値上がりが続いており、自社努力や組合員間でやり繰りを図っているが限界を感じており、来春の売価改定に向けて試算を始めている。
機械・金属	【めっき】 金属原料、特に亜鉛メッキ関連が高騰しているが、価格転嫁に苦慮している。 【機械金属（高崎）】 中東情勢の影響から原材料不足・高騰が続いており、先行きを懸念。 【自動車関連】 月末の突発的な大雨により、工場内が浸水した組合員がおり、改めて防災対策の必要性を感じている。 【機械金属（富岡市）】 原材料、燃料費等、すべての物価上昇が経営に悪影響を及ぼしている。
そ の 他	【家具】 材料の調達コストは高止まりしている。さらに円安が進めば、年明け頃に再度の値上げが必要と考えており、市況の冷え込みを懸念している。 【ゴム製品】 原料価格の高騰分を吸収しきれず現在も価格交渉を行っている。また、廃業した他社の肩代わりで、業務が多忙となっているメーカーも見受けられる。

《非製造業》

卸 売 業	【紙卸売】 販売先からは度重なる値上げへの抵抗が強く、販売競争も激化。さらに熊本地震による製紙主力工場の生産停止が発生し、取扱製品の変更を含めた対応を迫られている。 【自動車タイヤ】 9月からのタイヤ値上がりによる仮需で前年同月比200%以上伸張。しかし在庫確保が厳しい中、メーカー側の人手不足から、今後の商品供給は困難になる見込み。
小 売 業	【家電】 エアコン、冷蔵庫、テレビ、洗濯機の販売が好調。特にエアコンは設置工事が伴うため収益が増加しているが、入荷までに時間がかかることが課題となっている。 【石油】 価格転嫁が進まず収益が悪化。補助金により資金繰りは安定しているものの、不安定な中東情勢や急激なコスト高への警戒感が続く。
商 店 街	【前橋市】 セタまつりや縁日は賑わったが猛暑で来街者が減少。涼しい大型店等に人が流れる中、気候変動に応じた商店街のあり方を中長期的に検討する必要性を感じている。 【高崎市】 連日の猛暑で昼間の人通りは寂しいものの、週末夜間は駅周辺を中心に飲食店等で賑わいが見られる。物販は物価高騰による買い控えもあり、厳しい状況が続いている。
サービス業	【建築設計】 建築士の高齢化が深刻な中、受験資格の要件緩和を盛り込んだ改正建築士法が可決された。若手建築士の増加に向け、早期の法律施行を期待している。 【草津温泉】 中国人旅行客は減少傾向だが、その他地域からのインバウンド需要や国内個人旅行客が好調に推移し、宿泊人数・売上高ともに前年同月比増となった。 【不動産取引】 高崎市や太田市等、一部地域の引き合いは強いが、市場は総じて悪化傾向にある。自治体間の格差は今後さらに拡大する見込み。
建 設 業	【建設】 DXやAI活用により、若手の定着率が向上する一方、高額な導入コストやベテラン層の抵抗感が課題となっている。また、中東情勢の影響から資材価格が高騰し、採算性の低下や工事遅延が発生。資材高騰や納期遅れ、人手・後継者不足による倒産も増えている。 【電気工事】 中東情勢の悪化により、電線・器具等の材料の値上がりが続いており、経営に影響が出ている。気温の上昇による作業環境悪化から対策費も増加している。 【鉄骨工事】 受注物件の工期遅れで調整に引き続き苦慮。塗料等は入手しやすくなったが価格は高止まり。人件費も上昇する中、加工賃の引き上げが課題。
運 輸 業	【一般貨物運送】 エンジンオイルやギヤオイル等の潤滑油は受注が再開しており、一部を除けば半月ほどで納品される状況。また、お盆前需要に対して車両不足等に悩まされている。特に小規模運送事業者は人手不足が深刻であり、求人広告を出しても応募はほぼゼロの状態。

※本調査は、情報連絡員56人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。